

プログラム 22 207 号室 14:00 ~ 14:30

タイトル	【コンビニ弁当 (国旗立てゲーム)】から見る、知る、感じる世界の格差
氏名 (所属)	安本和正 (公益財団法人 農業・環境・健康研究所)
ホームページ	http://www.izu.biz/bioken/
キーワード	フードマイレージ、生物多様性、飢餓、児童労働、遺伝子組換え、自給率、食品表示
アピール文	静岡県教育委員会の学校新聞で紹介。コンビニ弁当を通して、フードマイレージからその社会の仕組みや背景にある問題点に気づくことができます。子供から大人まで、ワイワイ、キャッキョ、笑顔になれるワーク。哲学者の方はご遠慮ください。
要旨	<p>[経緯] 2005 年 あおぞら財団のフードマイレージ買い物ゲームの教材について、指導を頂き、2006 年に静岡版買い物ゲームを作成。その後、時間短縮や自然環境問題を含めた現在のコンビニ弁当国旗立てゲームを製作。</p> <p>[実績] 小中学校、ボーイ・ガールスカウト、看護専門学校、静岡 JICA などで、これまでに 70 ヶ所以上実施 (イベント会場も含む)。JICA 教師上級指導者研修・日本環境教育学会で報告発表。本年、農水省消費者の部屋で展示紹介。静岡県教育委員会主催「地域をデザインする授業づくり」でワーク実施。</p> <p>[参加者の声]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お爺ちゃんの野菜をこれからたくさん食べたい。 ・国旗をお弁当のボードに突き刺すのが、とっても面白い。 ・たくさんの食べ物が日本に輸入されていることが分かった。 ・学校に行けず、働く子供もいることをはじめて知った。かわいそう。 <p>[先生の声]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ弁当で、こんなに多くのことが学べるとは、思わなかった。 ・もりだくさんの内容があるので、単元でテーマを絞ってもいいかと思った。 <p>[保護者の声]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面白いと思った。参観日で、子供たちが楽しくやっているのには驚いた。 ・毎日お買い物しているの、子供たちには負けられないと思った。 <p>[ゲームの工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業時間、50 分の枠に収める。 ・子供の興味がわく話題、「自分はどうか」を投げかける。 ・子供の参加意識を高めるために、キャスト(配役)を与える。 ・世界の国に興味を湧く、ヒントを用意。 ・狙いのテーマに濃淡をつける。

